協会ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ

川崎美術協会会報

2023年12月1日
第1号
発行：川崎美術協会
発行責任者　小玉 精子
編集責任者　喜藤 剛二

祝
会報初回号

第94回美術協会展開催

第94回川崎美術協会展は10月17日から10月22日の日程で開催されました。出品作品は昨年101点より増加の131点が集まり、内容的にも充実した展示を示すことが出来ました。来館者数も総数880名を超え、活気のある会場となりました。入館者の方々からは「とても良かった」「イイね」など嬉しい感想をたくさん聞かせて頂きました。
当協会展の特色は、作品の大きさF6から出品できることです。実際にF6からF8程度の作品数が最も多く45件ありました。作品の中にはF50以上の大作が14件あり、広い会場を埋めていました、やはり大きい作品は迫力があります。出品者数は79名でそのうち今回初出品の方は19名ですが、今まで他の団体等で活躍されていた方や、最近絵画を始めた方など様々なようですが、いずれも力作ばかりでした。
今年は会場のアートガーデンンかわさきが改修工事中で、展示会の入り口がわかりずらいなど、ご不便をお掛けしましたが、皆様のお陰で「川崎美術協会展」を成功裏に終えることが出来ましたことをご報告申し上げるとともに心より御礼申し上げます。

第94回川崎美術協会展を祝し

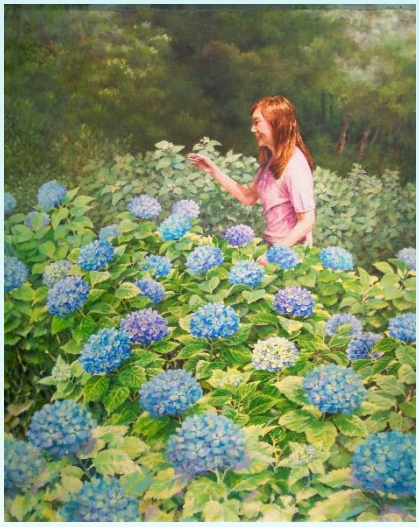
会長　斎藤文夫　（元参議院議員）

かわさき市文化祭2023参加の美術協会展が、10月17日～22日、アートガーデンかわさきで川崎市、川崎市教育委員会共催のもと、盛大に開催され、多くの方々に鑑賞していただきました。ご後援、ご協賛頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。さて当協会は大正時代、川崎の芸術家が集まり美術協会を結成した、歴史ある文化団体であります。戦争や、コロナで中断した事もありましたが、94回も継続してこられたことは、その時々の関係者の大変なご努力の成果であり、敬意と謝意を表します。年々作品のレベルが向上し、充実したすばらしい展覧会になっていると自負しており、数々の受賞をされた皆様に心からお慶び申し上げます。これからも一層ご精進頂き、すばらしい作品をお見せくださるよう、お願い申し上げご挨拶といたします。

受賞者の作品

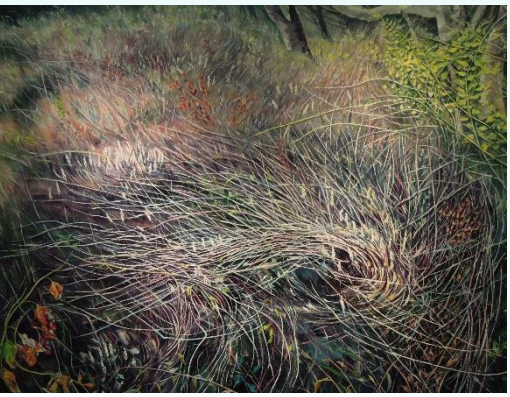
花と石仏（臼杵）関東 信明

			受賞者
1	川崎美術協会賞 川崎市文化祭奨励賞		関東　信明
2	神奈川県知事賞		志村　香
3	川崎美術協会会長賞		古木　嘉雄
4	川崎市長賞		東海林　信
5	川崎市教育委員会賞		寺島　幸夫
6	神奈川県議会議長賞		割石　利子
7	川崎市議会議長賞		中野　雅利男
8	川崎商工会議所会頭賞		吉岡　美穂子
9	川崎市観光協会会長賞		森末　まさ子
10	神奈川新聞社賞		大倉　美和
11	無羅多正健賞		田中　和子
12	奨励賞	川崎大師平間寺賞	小木　美加
13		川崎幸ｸﾘﾆｯｸ賞	箕浦　妙子
14		堂本製菓賞	矢野　裕子
15		堂本製菓賞	下澤　雪子



六月の青　志村　香

ギタリスト　古木 嘉雄



雑草　東海林　信

雪晴れ　寺島 幸夫

受賞者の言葉

○関東 信明
このような立派な賞をいただき、恐縮しております。石仏は平安時代後期に岩を削って作られたもので風化も激しく、その岩肌を表現するのに苦心しました。また、菊の花を人に見立てて仏様と対話している信仰空間を描いてみたつもりです。この賞を励みに、今後一層絵の制作に精進しようと思います。

○志村　香
この度は身に余る賞を賜り、大変光栄に思っております。小品から大作まで、個々のレベルの高さに驚き、大変感動いたしました。又、講評会では、複数の先生方より細かな点まで丁寧なアドバイスを頂き、今後の制作に生かしていきたいと思います。

○古木 嘉雄
この度は名誉ある賞を賜り、深く感謝申し上げます。絵が好きで、学生時代より描いていましたが、ギターも暇を見つけては弾いていました。コンサートにもよく行き、将来ギター演奏の絵が描ければと強く思うようになりました。絵を描くときはギターの音色が聴こえて来るような画面になればと思っています。

○東海林　信
歴史ある川崎美術協会展での受賞は誉れあり、大変嬉しく思っております。また、新しい展示機会と絵の仲間に出会えたことに感謝します。風景画を基本としていますが、目に映る全ての光景に美を捉えるよう務めています。受賞作は枯れかけた雑草が生き生きと動く様子が面白いと思い描きました。

○寺島 幸夫
伝統あるこの展覧会で立派な賞をいただき大変嬉しく光栄に思っております。受賞作品は、雪の降った翌朝早々、金沢文庫称名寺に出かけて取材し描きました。逆光に輝く雪が清々しく、心字池にはまだ溶け残った氷がありました。

作品審査を終えて

今年の作品は力作が多く、特に新しくご参加頂いた皆様の作品のレベルの高さに、審査委員として受賞作の決定に苦慮いたしました。各方面で活躍されている方も多く、また来年も仲間として参加頂けることお待ちしております。来年は「川崎市制100周年」にあたり、市をあげて盛り上げようという気運が高くあります。当協会も市制100周年記念特別賞を用意し、川崎市内の風景を描いた作品を募集します。また協会行事としても川崎市内の各所にてスケッチ会を開催致しますので、後記スケッチ会の詳細を確認の上奮ってのご参加下お願います。(事務局長 小玉精子)

表彰式・総会・懇親会

会場内にて受賞作に対して表彰式が行われました。その後、場所を移して2023年度総会及び懇親会が行われました。

表彰式の風景

冒頭当協会の会長、斎藤文夫より挨拶が有り、来賓の川崎市長他ご出席の中、表彰式が執り行われました。
賞は選考委員の投票点数をもとに討議し、民主的に決めます。今回は初出品の受賞者が増えて、会に新風を与えてくれました。

福田紀彦 川崎市長よりご挨拶がありました。
戦後、焼け野原の川崎での美術展開催から現在の川崎美術協会展までの歴史。今の世界で紛争中の国が多い中、その人が描く絵はどんな絵か、今ここで集まって絵を描き、見ることが出来る幸せを感じる、と話されました。

2023年度　総会

会員数は、新規加入者及び退会者から今年は83名でした。総会参加者は30名、その他委任状28名で計58名となり、総会は成立しました。

議事次第

1 開会挨拶
2 議長選出
3 議事
【第1号議案】2022年度事業報告
【第2号議案】2022年度収支決算報告監査
【第3号議案】2023年度事業計画(案)
【第4号議案】2023年度収支予算案
【第5号議案】2023年度新役員選出(案)
4議長解任
5閉会挨拶
全ての議案は承認されました。

2023年度　本部役員名簿

会長	斎藤文夫
運営委員長	山川靖夫
事務局長	小玉精子
会計委員	井上和子・松浦淑恵
会計監査	大江孝行・宮村有紀

2023年度　本部運営委員
井上和子・上野義幸・大江孝行・上條千恵子・関東信明・北川文子・喜藤剛二・郷田数夫・小玉精子・坂口ハル工・汐見正和・篠田泰蔵・高橋正子・田中房江・田辺彩子・富田健三・福井 元・松浦淑恵・三上保男・宮村有紀・山川靖夫　（以上21名）

役員・受賞者他集合写真

福田川崎市長・斎藤文夫会長　来賓を中心に、今回受賞者及び山川運営委員長以下運営委員全員の集合写真です。

本展来場者数

10月17日	101名	
10月18日	105名	
10月19日	130名	
10月20日	119名	
10月21日	202名	
10月22日	223名	合計880名

芳名帳記載者の内訳
招待者：小玉精子　?? 名
招待者：山川靖夫　?? 名
招待者：宮村有紀　?? 名
招待者：大江孝行　?? 名
招待者：福井　元　?? 名
(以下省略)
ご来場ありがとうございました。

川崎美術協会
公認・非公認

お知らせ・今後の活動予定

小品展in関内「藍の会展」

当協会会員有志により来年5月中旬、横浜関内において小品展「藍の会展」を開催いたします。下記要項をご覧の上、皆様の参加を募ります。
出品要項
会場：ギャラリー「ミロ」横浜市中区吉田町4-1　(JR関内駅徒歩2分)
会期：2024年5月13日(月)～5月19日(日)
時間：11時～18時　最終日は16時まで
出品数：20号を最大にそれ以下の大きさで3点から4点を見込む
出品費用：20,000円から30,000円　参加人数により変更
出品内容：油彩・水彩・日本画・アクリル・パステル・水墨画
詳しくは連絡先まで：「藍の会」運営委員長　富田健三
tommy88@t.Vodafone.ne.jp

決定
2024年協会展
川崎市政100周年
10月15日(火)～
10月20日(日)

今後の活動：美術展

①2月6日(火)～2月11日(日)
第39回かわさき市民芸術祭　美術部門に出品
場所：アートガーデンかわさき
川崎美術協会員より参加者21名

②川崎市文化協会70周年記念
＊記念誌の発行　2024年1月発刊
＊記念行事　舞台部門　中原市民ホール
＊芸術部門　2月16日(金)～18日(日)
場所：中原市民ギャラリー

③3月1日(金)～3月6日(水)
新百合デッサン会展（後援事業)
場所：麻生市民ギャラリー

④5月13日(月)～19日(日)
小品展「藍の会」
場所：関内ギャラリー「ミロ」

他にも有ります

⑤12月14日(木)～20日(水)
青の会あざみ野＆山口台合同展
場所：新百合ケ丘　麻生市民ギャラリー

⑥2月7日(水)～19日(月)
第68回新槐樹社展（公募）
場所：国立新美術館（六本木）
主催 新槐樹社　後援 文化庁・東京都

美術協会スケッチ会

①2023年12/20　川崎ﾗﾁｯﾀﾃﾞｯﾗでｸﾘｽﾏｽを描く
JR川崎駅中央改札：午前10時集合
川崎駅徒歩5分

③2024年1/17　日本民家園で昔の民家を描く
日本民家園入口：午前10時集合
小田急線「向ヶ丘遊園駅」南口徒歩13分

③2024年2/21　王禅寺ふるさと公園で梅を描く
王禅寺ふるさと公園入口：午前10時集合
新百合・柿生・あざみ野駅からバス　裏門坂下車

お弁当持参・小雨決行・雨天の場合翌週
参加費 2,000円　連絡先 小玉 090-7257-3463

中原素描研修会のご紹介

中原素描研修会は、川崎美術協会北部支部会員の人物デッサン自己研鑽の場として1985年に設立以来、通算1100回の開催を数え、現在中原市民館または高津市民館を会場として、月3回程度の土日を中心に、毎回20名程度の参加で、コスチューム・裸婦を固定ポーズで描く会を開催しています。
参加は川崎美術協会の会員に限らず、当会会員の紹介があれば参加を頂いています。ネットで「中原素描」を検索して頂くと予定表を見ることが出来ます。
（中原素描研修会実施責任者　福井 元）
090-1856-0653

展示会を終えて

編集後記
今回運営委員となり、応募ハガキの発送から展示会の支度等、初めて参加しました。当初の川崎美術協会展の招待者数は当時の会員数である96名から始め、その後追加の招待者数22名あり、結果として118名の方に参加ハガキ含む資料を発送しました。参加ハガキの回収枚数は95名で、その内訳は会員としての出品者73名、会員とはならない一般としての出品者6名、今回不出品10名、退会6名です。本展での展示飾り付け、受付業務、会場整備、作品梱包作業などお手伝いして頂いた方々のご協力に深く感謝申し上げます。本展は皆に開放された公募展で、参加作家方々のご協力によって支えられております。これからも、美術館等でたくさんの方々に絵を観てもらいたいとの気持ちを持った作家さんたちへの応援、お手伝いをして頑張って運営してまいります。どうぞこれからも川崎美術協会展への参加応援をお願いします。（喜藤）